

調達管理番号・案件名
25a00740_インド国ジャルカンド州参加型森林能力強化事業準備調査【有償勘定技術支援】(QCBS-ランプサム型)

質問と回答は以下のとおりです。

2025年12月12日

質問番号	ページ	項目	質問内容	回答
1	7	p.7 9. 資金協力本体事業への推薦・排除 p.21 (9)概略設計	p.7 9. 資金協力本体事業への推薦・排除「本件業務は、有償資金協力事業に係る詳細設計業務を含みます。」と言及されておりますが、p.21 (9)概略設計で示されるとおり、インフラ整備は概略設計までという理解で宜しいでしょうか。	ご理解のとおりです。当該項目「9. 資金協力本体事業への推薦・排除」は該当しないため、削除いたします。
2	13	第3条 実施方針及び留意事項 (6)本業務における地理的な対象範囲	保存林、保護林、未区分林、野生生物保護区など法的な森林区分に関連して、現時点で事業の活動が特に制限される、または回避すべき区分があれば、教えてください。	過去の類似案件を踏まえると、いずれの区分においても活動は制限されない見込みですが、森林局での運用やガイドライン内容とJICAの環境社会配慮ガイドラインに照らし合わせた上で判断を行いたいと考えますので、その判断材料となる情報を本調査で集めて頂くことを想定しています。
3	29	第4条 業務の内容 (27)代替植林・再植林の実態調査	本実態調査におけるDXとの連携は初期データ整備に留まるのか、それともGISを用いた植林地の正確な位置特定、植生回復のデジタルモニタリング手法の開発、およびそのデータ活用のための技術支援まで含むべきか、DXコンポーネント側の想定範囲を具体的に教えてください。	第4条(27)のDXに限らず、本事業全体のDXコンポーネントにおいては、森林局の既存のデータ情報やシステムの把握と現状に基づいた事業内DX活動の提案に加え、ご提案頂いたようなGISを用いた植林地の正確な位置特定、植生回復のデジタルモニタリング手法の開発、およびそのデータ活用のための技術支援や既存のデジタルインフラの活用等を想定しております。

以上